

満1歳で～す！



菊池明さん(向野)の長男 開司くん



福島伸吾さん(一里小屋)の次女 愛麗ちゃん

戸籍のまど (8月届出分)

★お誕生おめでとう

本田 陸翔(慶貴) 砂子又
青柳 来牙(俊一) 尻屋

★お悔やみ申し上げます

松木 忠吉(砂子又) 88歳
畑中 とめ(入口) 84歳
田中 和明(砂子又) 52歳

青木 啓次郎(入口) 93歳

真賀 敬二(蒲野沢) 80歳

新岡 清正(小田野沢) 63歳

中村 孝興(大和利) 83歳

三橋 一義(白糠) 68歳

川端 靖(小田野沢) 43歳

寺道 マツヨ(蒲野沢) 77歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
ことをお願い致します。

ひがしどおりのさんぽみち

タイトル:山車が紡ぐ地域の絆
情報提供者:蒲野沢青年会



今回のさんぽみちは、蒲野沢青年会のみなさんが大切にしている八幡宮例大祭と大黒山の山車です。

八幡信仰は東通村内に14社が存在するとされますが、蒲野沢八幡宮は宝永3年(1706年)に京都の男山八幡宮から勧請されたと伝えられます。(東通村史より)

特に、平成20年に約100年ぶりに”復活”した山車が見事で、平成24年には東日本大震災の復興を願い、2階造りの山車に修復しています。

この山車は、2つの装いで集落を巡行します。

蒲野沢八幡宮から大黒様を乗せ、御旅所(おたびしょ)となる「山あいの里」へと向かう時、山車は幻想的な灯りと勇壮な源義経の送り絵で、集落を照らし練り歩きます。

宵宮となる翌14日には、一転、吹流しや御幣など色とりどりの飾りをつけ、艶やかな趣へと変わります。

子ども達が地区の大人たちに見守られながら、共に関わっていくことで、大切な伝統行事を支えています。

